

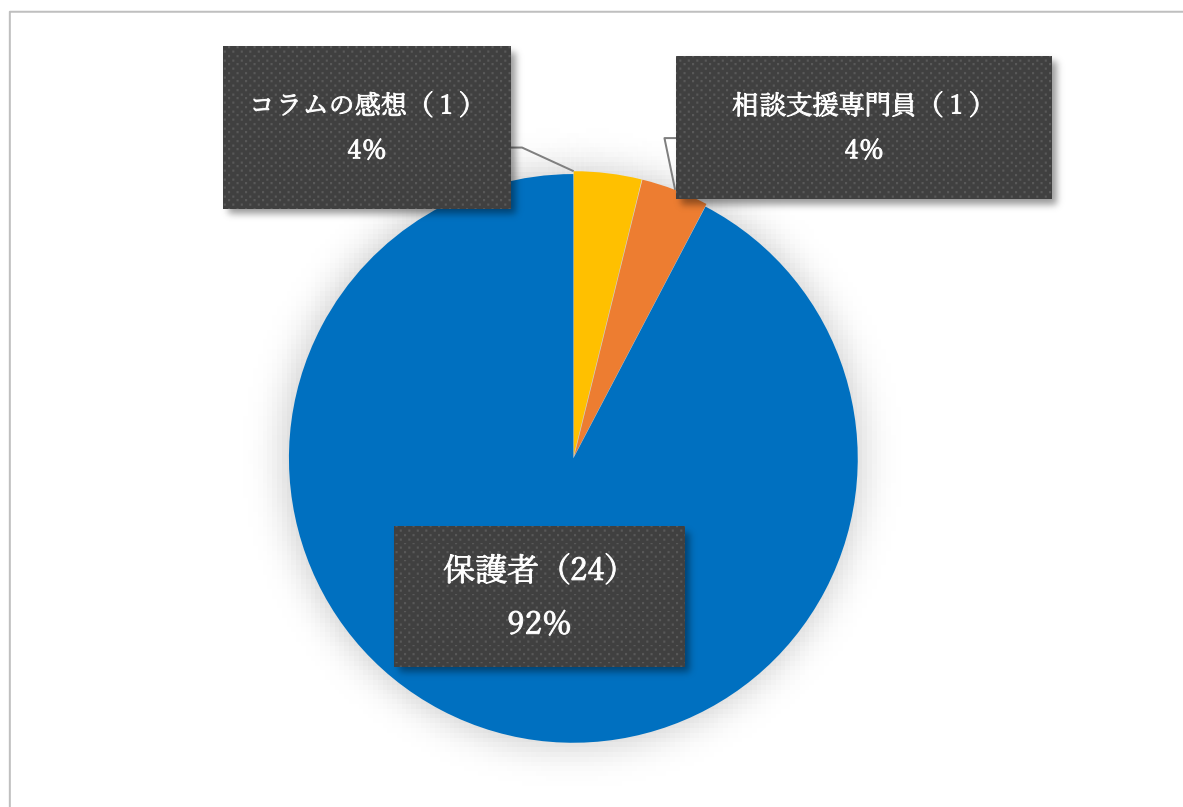
教育相談に関するアンケート集計結果

調査期間 R 4 年 9 月～ R 4 年 1 0 月末

回 答 数 2 6 件

調査方法 インターネット及びアンケート用紙配布

設問１ どの立場で教育相談に参加されましたか？（回答 26 件）



設問２ 感想をお書きください。（回答 25 件）

（１）教育相談に対し好印象を受けた方（10 件）

○校区の小学校には支援クラスが無く 自分の子供の様子で支援学校を選択していました。教育相談でもその事をお伝えすると、そこまで認めている親御さんは珍しいとおっしゃられていました。

○今年の教育相談に参加しました。事前情報を得ていない状態で参加しましたが、まず面談に応じた先生方の人数(6 人)に驚きました(2、3 人くらいかなと思っていたので)。あと個室でなかったのも少し驚きました。面談は息子も質問の時は緊張したかんじでしたがきちんと答えることができ、その後のお絵描きも先生方と楽しんで取り組めていました。

保護者としても先生方は息子をしっかり理解し受け入れようという姿勢がすごくかんじられ、また短い時間でしたが色々な視点から今の息子の状態を把握しようと色々な工夫もあり、入学前にこのような機会に参加しておいて良かったなと感じました。

親子ともにこの先生方なら安心して入学できると感じる事ができるような有意義な面談になりました。”

○支援学校の先生とお話して一日の流れとかいろいろ聞けてよかったです。

○実際通う小学校の先生達に話を聞いてもらって、就学したときのこととかを互いに詳しく話しができ、納得のいくかんじで終わりました。

○我が子は重度の知的障害だったので(多分一才程度)初めから特別支援学校の話をしました。もう 10 年前の事です。特別支援学校の先生が優しく対応してくださいました。

○進行されてた小学校の先生が子供の状態を色々聞いてくださった。最寄りの小学校の先生ではないが、両端に最寄りの小学校の支援級の先生、そして支援学校の先生もいて子供の様子を見てくださった。名前を読んで振り向いたときも、振り向いてくれたね。と声をかけてくださった。良い印象でした。

○就学時の不安を丁寧に聞いていただきありがとうございました。
普通学級にするか、支援学級にするか迷っていましたが、たくさんのご意見を聞くことが出来て良かったです。

○入学予定の学校の先生と相談できて安心しました。私は子ども 2 人とも利用したのですが、毎回丁寧に対応して頂いて有難いです。

○最初、ブースに入った時に、たくさんの先生方がいてビックリしましたが、和やかに迎え入れていただきました。主に話してくれる先生は優しく、ちょうど兄の学校の先生もいて、話しやすかったです。
終わった後も、兄の学校の先生が外に出てきてくださって、いつでも学校に足を運んでください。と言っていました。進学先はある程度決めていたので、その方向で行きましょうという感じで終わりました。途中から子どもは、先生方が遊んでくれて退屈することなく、過ごすことができました。”

○当日はこちらの希望や学校の中のことを知ることができ、大変満足して安心しました。

(2) 教育相談に対して疑問を抱いた方(14件)

○選択肢が狭く、希望をなかなか聞き入れることが、したくてもできない状況のようで、相談と言うような感じでもなかった。

○私が SNS やインターネットなどで教育相談の雰囲気などを想像していたからかもしれませんが、正直想像と全く違うもので圧迫面接を受けているかのような時間でした。

ブースに入るといきなり号令がかかり、親でさえ驚きました。

事前に提出したプリントは読んでくれたのかな?と思ってしまいました。

必要だったのは発達検査の数値だけで子どものことは必要なかったのかもしれませんが。

初めての場所で大人の人数も多く緊張しているのに喋れることも喋らせてもらえない、少しの時間も待ってもらえない。

特別支援学級は軍隊でも育てる教室なのかなと…。

特別支援学級への入級を希望して相談にいきましたが

特別支援学級は手厚くないので支援学校の方をお勧めします。

入学してきたら対応はします。

終始、聞きたいことは答えます。という感じでした。

今すぐ決めるわけじゃない、後日判定が出ると何度も言われましたがその場で判定されたと言っても過言ではありません。

私は定型発達の子どもの身近で刺激をもらいながら、沢山のことに挑戦し、成長して欲しいこと、友達関

係等、大人になってからでは学べないことが多くあり、勉強だけをする所じゃないと思っているので地域の小学校に行かせたいと思っています。小学校に子どもを丸投げするつもりはありませんし、親の私でさえ日々成長している子どものことを 100%わかっているわけではないので現場の先生方と情報共有しながら小学校生活を送れたら…、困っていたら声掛けや学校生活に慣れるまでは手助けをお願いしたい。と思い相談に行きましたが

やってみないとわからないのは困る、会話が苦手、手がかかりそうな子どもは入学してほしくない、そんな雰囲気しかありませんでした。

先生方の負担もわかりますが

この教育相談ってなんなんでしょう… ???

ブース内に沢山の先生がいる中、喋っていた先生方の印象は良いものではありませんでした。

今、小学校に通っているきょうだいの担任の先生、過去担任だった先生にはそのような先生いなかったのもショックでした。

発達障害があるから特別に寄り添って欲しいとは言いませんが、誰か 1 人でも「一緒に頑張りましょう」という姿勢の人が…立場等あるでしょうが発言して欲しかった。というのは私が求めすぎなんでしょうか…。

○息子は発達障害グレーゾーンです。短時間の話し合いと発達検査の結果ですぐ判定が出るのにビックリです。発達検査結果だけでいうと平均的ですが園での困り感はず山あります。進学先の先生が面接をしてくれるものだと思っていましたが違う学校の先生も面接してくれました。進学先以外の学校の先生と話を意味があるのか？と思ってしまいました。進学しても先生とコミュニケーションをとってこちらから動かなければ息子の事を理解してもらえそうにないなと思いました。

○一定の同じ条件で、客観的に判断している状況は理解出来ました。2 名のこどもさんの教育相談に参加させてもらいましたが、特性を把握して下さって、質問してくれている先生もいましたが、中には、特性に関係なく、事務的な質問を繰り返す先生もいて、その中で、判定されるのはどうかな？と思いました。また、共通のブースでは、力を発揮出来るこどもと、そうでないこどもの分類に分けられているだけでは公平感はゼロだと思います。

個性に目を向けてると言っても、現場で関わる先生のスキルに、こどもさんが合わされてしまっているのかなと、つくづく思いました。

○教育相談時の司会の先生が、悩んでいた地域の学校の先生で、教育相談前から何度かお会いし話をさせてもらっていたので、私とその先生の中で答えが決まっていた部分があります(地域の学校を選択)。ただ、教育相談の結果は支援学校でした。結局その後もその先生と幾度となく相談させてもらい、最終的に地域の学校を選びました。今年入学し、子供がうまくいってるのを見て、あの教育相談に意味はあったのだろうか、つくづく思います。何を見てのあの結果だったのか。

○中学進学に向けて参加しました。

小学校入学時も思ったのですが、事前提出されたスコアや資料を見ているという建前でありながら、特性すら理解してもらえない対応、支援学校や地域の学校の支援級、普通級、通級やサポートルーム、それぞれの程度の支援がしてもらえるのかや特徴についての説明もなく「来年度になってみないとわからない」という対応。

初めての場所、5 人も先生が机越しに目を合わせてくる空間に子供はいることはできず、早々に外に出てしま

い「本人と話をしていないので判断できないのですが…」の言葉。教育相談を受けないと進学先選定はできないと言われて参加していますが、本当に無意味だなと思います。

○意味があったのかな、という印象です。

事前に提出していた発達検査の結果を見てだとは思いますが、簡単に名前や挨拶を本人としただけで、普通級で大丈夫でしょう、何か問題があるんですか？というようなかんじでした。担当してくれていたのは進学予定の小学校の先生と全く違う学校の先生でした。

こちらが困り事や園での状況を伝えと、判断が難しいですね、と悩まれていました。

教育相談までに、進学予定の小学校に保護者だけ、こどもと一緒に、両方含めて 4 回ほど足を運び、教育相談よりさきに発達検査結果の共有、こどもの様子、最近のできごとなど話をきて、理解していただけいていると思いましたが、あまり分かってきていないのかなと感じました。

結局、支援級判定で結果はきましたが、審議内容について問い合わせると親が悩んでいるから、支援級、普通級どちらを選んでもよいようにとのことでした。ではあの場の相談の意味はなんなのだろうと思いました。

こどもの特性から考えられる問題についてこういう配慮はできますかときいても、できたらいいのですが現状では無理ですという返事ばかりで、では我が子にとって必要な支援はどこにいけばうけられるのか、普通級でも支援級でも受けられないと愕然としました。

○子供が年長の時と小 6 の時に参加しました。年長の時は遊ぶスペースのような場所が親から少し離れたところにあり、子供はその場所で過ごしていたので、ほとんど親が話すだけでした。

小 6 の時は親の横に子供も一緒に座っていたので、子供の困り事など親が話す内容も子供が横で聞いているという状況だったので、とても話しにくいなと思いました。また、子供は質問されることを知らなかったのも戸惑っていました。

○数年前に教育相談を受けました。その時の様子をお伝えします。

その時はブースごとに別れておりましたが、なかなか、いやかなり周りが賑やかでした。

我が子はフリーズしてしまうタイプで、周りに圧倒されていました。

教育相談ですが、うちは構音障がいのため、通級希望をしました。

が、先生と少しのやり取りをしてこれくらいだと通う必要はないと言われました。

発音はリハビリのおかげで、よくはなっていました、こんな簡単なやり取りで簡単に大丈夫と言いきれることに驚きました。

あとは家では困り感はないが、集団生活を送るにあたり、フリーズしたり、辛いことがあっても言葉にできなくて泣いてしまったりと困難があることが予測されるので、支援級の希望をしました。

その際たまたま大人しく座ったり、絵を描いたり、興味のあるパズルやつみきなど落ち着いてしているから、通常級で大丈夫でしょうと言われました。

配慮が必要な子なのに、

そんなことだけで簡単に決めれるか疑問でした^^;

なんのための教育相談なのか。

私の時の通知書も同じものでした。え？これだけ？と驚きを隠せず、コーディネーターの先生に電話をしました。ある程度知識のある保護者ならこういう風に動けますが、何も情報が入らない保護者だと通知の結果のまま動くしかなくなりますよね。

ギリギリまで悩み、通知書にあった通常級(時に配慮を要する)で就学しました。

1 年生の時は圧力でこどもを動かす先生が担任になり、暴言をはかれたり、きつくあたられたりして親子共々

辛い日々を過ごすことになりました。

ベテランならではのアドバイスもあり、素晴らしいところもありましたが、保育においても反面教師にさせて頂いてます。

子供の気持ちに寄り添い、話をきいて丁寧にに関わり、頑張ったりいいことをしたら褒める、それができない先生だったので、自己肯定感の下がった我が子は1年生の途中から場面緘黙になってしまいました。

話は反れましたが、

今治市の教育相談は改善の余地ありと感じました。

どこに相談をしていいかわからない、相談してもあちらへこちらへで、保護者は振り回されてしまいますし。

11月の小学校の健康診断のときに相談しても間に合いませんよね。

子供に寄り添い保護者に寄り添い、落ち着いた環境で、早め早めに決定にむけて動ける、その子のベストを考える相談ができる教育相談になってほしいと思います。

まとまりのない文章で申し訳ございません。

○主に幼稚園に通いながら通所サービスに通っていました。幼稚園や通所サービスから教育相談の案内があり希望して受けました。

支援級か通常級のどちらが適しているのか非常に迷っていたので、教育相談の判定を元に考えようとその旨を幼稚園にも通所サービスにも伝えておりました。

判定は幼稚園を通して知らされました。

幼稚園の職員室に呼ばれて、複数人の先生が着席しているなか封筒を渡されました。

「こちらに結果が入っています。開けてください。(私が開けて一読するのを待って)どうしますか？」

と聞かれました。

「一度家庭で話し合って決めます」

としか返事できませんでした。

結果がどうであれ、すぐに結論が出るわけではないですし、迷っていることも伝えていました。それにも関わらず、

「小学校に早く結論を伝えないといけないので早めに決めてください」と言われて終わりました。

そのあと先生の詳しい話があるわけでもなかったので、複数人の先生に見られながら封筒を開ける保護者の気持ちになってほしかったです。

小学校に連絡し、すぐには結論が出ないことを伝え、「急がなくて大丈夫ですよ」とお返事がありました。

他の幼稚園の保護者からも、封筒を家に持って帰って見たとか、大事なことなのでよく考えてくださいと言われたとか、そういう話を聞いて悲しくなりました。

長年お世話になっていた幼稚園でしたが、子どもや家族のことを第一に考えていない対応に最後にとっても後味悪い感じがしました。”

○通常学級の判定でした。学校と教育委員会に意義申し立てしましたが、通りませんでした。今一年生で楽しく通っていますが、結果がよかったからよい、という問題ではないと思います。最初はゆっくりスタートしたかったです。

○4年前に長男、昨年次男、今年長女が受けました。長男次男はかかりつけ医の意見書があり知的軽度と中度で支援学校に通っています。長女の方は知的軽度ですが、結果通知は検討との事でまだ就学先が決まっていません。12月に再度結果が送られてくるみたいで早く就学先が決まるようなシステムになればいいなと思いました。正直毎月のように小学校支援学校へ行き、長女は支援学校に行きたいと言っていて、でも

結果は教育委員会で、という感じで長女共々不安でいっぱいです。

○高学年 支援級(情緒)所属です。教育相談の時点では支援級か通常級か迷っていました。ですが心のどこかで通常級を望んでいました。

私が教育相談で違和感を感じたのは、子供には嗅覚過敏がある為、給食の時など耐え難い匂いがある時は別室など少しでも匂いが軽減される場所が欲しい と伝えた時です。即答で「それなら支援級所属ですね。」と言われました。通常級ではいつでも匂いを避けるための場所は用意出来ないの、初めから支援級に所属していればいつでもそこに避難できるとのお話でした。検討して頂くこともないのかと驚きました。今現在、子供は学校に行けていません。通っていた学校では通常級のアレルギーがある子に給食の時に別室が用意されています。もちろん命に関わる事なので必要な対応です。でもそれが可能なら嗅覚過敏の子供に別室を用意するのも可能なのではと疑問に思ったりもします。嗅覚過敏以外の他の特性も考えて支援級所属という結果が出たのかも知れませんが、当時の私には、子供の特性や必要な支援を考え将来の可能性も含め検討する教育相談ではなく、ただその時にある学校の設備や人員で対応できるか対応出来ないかで子供達の行先を決めているのだなと感じました。

○前年度受けた方たちが、話を聞いてもらえてない感じがする寄り添ってもらえていないと言っていたのを受け、心配しながら今年受けました。我が子は特別支援学校判定に違いない特性であり、初めからそれを大前提で支援級を希望しました。感じたのは子ども自身の障がいを含めた特性の理解をしようとしてくれているのかという疑問でした。まず、息子がステージに上がってしまい、そのことについて聞かれました。「お子さんは初めての場所でステージに登るんですか？」と。それはステージに登ることが良くないことであると感じていることが大前提である質問者の意図があるように思いますが、それならば立ち入り禁止のような視覚的支援をしておくべきであり、それでも立ち入った時には口頭で注意をするなどし、それらを生かして特性を考慮して説明してくれるのであれば専門的なのではと感じましたが、そういったわけでもなくステージに登る＝いけないことのような印象を受けました。また子どもが奇声が出てしまうことを伝えると「支援級は繊細な子が来るところなので」と言われました。奇声が出る子が繊細でないわけではありませんし、支援学校の子たちが繊細でないわけでもありません。誤解を生む良い方は避けたほうが良いと感じました。そしてブースに案内されましたが、入って正面に子どもの目を引く玩具があり、それを見てしまってから呼名をされたり、口頭指示への反応を見ていました。もう玩具に集中してしまっており、目も合っていない状態で横から話しかけても指示は入りません。それは事前の資料でも発達検査のスコアも特性も書いて提出しているので十分に推測できていたことであつたように感じました。何もない状態でせめて話しかけるか、話し言葉がないとわかっているのであれば選択できるカードを用意するなど気を引く、どのようにコミュニケーションが取れるかそういったことを図る場があつたのではないのかと思いました。環境設定も改善が必要であると感じました。

聞かれた内容も、事前の資料と同じことであり、子ども本人を見て判断するよりも保護者や園や療育施設の関係者に事前の提出資料にあるような質問をしていたので、それならばあの場に集まる必要性はないと感じましたし、もっと事前に進学先の先生たちと子どもを面会させ、特性の把握をする必要があるように感じました。

感想・不安等（1件）

○今回のコラム、衝撃とショックを受けました。市内の教育相談で、このような対応を行なっていることに。私にも来年小学校へ進学する子が居ます。正直、今治市内の教育現場に関わる方に、コラムに出てくるような教育者が一人でもいるのがショックでたまりません。そして、今後が不安です。是非、今治市の教育現場を進歩させるように働きかけたいです。ここから思います。いち保護者が出来ることありますか？

設問3 改善してほしい点があれば教えてください。（回答21件）

○我が子は大丈夫でしたが、あの会場の雰囲気は色々な特性があるお子さんには厳しいところがあるような気がします。隣のブースの話が聞こえるわけではないですが**プライバシー的にもせめて個室とかで対応できないものでしょうか？**

○言葉で言ってもわからないことがあるので表とか絵を用いてお名前を聞いたり誰と来たのか？とかを聞いてほしかったです。

○**なんの意味があるのか**、はっきりしてほしい。

○子供が**落ち着くスペース**があればいいと思った。

○会場がああな場所であればいけない理由が無いのであれば島嶼部の方もありますし入学予定の学校で最低限の人数でいいと思います。親でさえ**喋りにくい**です。

ずっと腕を組みこちらを見ていた人がいたのですが必要な設定か何かでしょうか？

選択肢を助言してくれるのは嬉しいですが**こちらの意見も聞いてから助言して欲しい**です。

市のHPで今治市の特別支援学級のこと(学級数や種別も)や支援員の設置の基準等を教えて欲しいです。**支援員の設置については知的学級のことが抜けているのでこちらにも設置をお願いしたい**です。

○教育相談は入口にすぎず、**教育相談が終わってからのほうが大切だ**と思いました。**進学先の先生と話ができるようにしたほうがいいのでは？**と思いました。

○夏の就学相談前に、事前にこどもさんの、ストレングスやウィークネス情報をもとに、よりこどもさんの**特性別に合わせたブースを設けてもらうことも、必要ではないか**と思いました。今は、ハード(環境面)は住みやすさがありますが、ソフト(社会資源等)を考えるとこどもさんにとっても、生活のし難さや、し辛さたくさんあります。これから受ける教育も同じことが言えるのではないのでしょうか…こどもさんにとっても、親御さんにとっても、将来を見据えての、大切な分岐点だと思うので、**細部にわたって、合理的配慮のある中での教育相談**にしていたいただければと思いました。

○学校の**結果通知**だけでなく、**どうしてその結果に至ったのか、説明が欲しかった**です。

○せめて**事前共有**されている資料はきちんと把握しておいてほしい。教育相談と銘打つならば、それぞれの学校等で受けられる支援、所属級や使用できるサポート等の詳細がわかる相談場所や**機会**がほしい。

○事前に分かるデータを繰り返しよみ、機械的に分けるような面談ではなく、それらを踏まえて、では具体的にどういった支援が必要か、できるのか、もう少し親身になって相談にのって欲しい。

できれば**慣れない環境での姿ではなく、相談前に園や療育施設での姿をみるなど**そういったアプローチはできないのだろうか。

また、プライバシーのないあの会場はどうかと思う。待ち合いはごちゃごちゃしており、配慮もない。知り合いにあったりもした。せめて個室は準備できないのかと思う。進学先の学校に複数日に分けて実施するなど工夫して欲しい。

○子供が親の話している内容がわかるのであれば、席を別に設けるなどができればいいなと思います。また、相談時にどのような事を行うか事前に伝えてもらえたら子供に伝えやすくなります。

あと、相談時ではないのですが、審議結果のプリントをいただきましたが、それをもらったあとどのようにすればいいか今後の流れが分からないので、そのプリントや同封でもいいので、親はどのように動けばいいか等の案内があればいいなと思います。”

○上記の話になりますが、幼稚園には判定結果の通知の丁寧な対応をしていただきたいです。

○上記記載

○子供が学校に行けなくなった理由は、支援級の担任の先生の特性を無視した不適切な言動です。学校に行っていた頃は交流級(通常級)の先生の方がしっかりと特性にあった関わり方をしてくれていました。支援級、通常級、支援学校、どの選択をしても少なからず難しいシーンに出くわす事はあるとは思いますが、教育相談を担当する先生方もその進路先の先生方もきちんと特性理解と個々にあった支援の方法を考える事が出来、また、子供達の未来や可能性について考える事ができる そんな方たちの育成をお願いしたいです。

○特別支援学校判定が出るであろう子で、地域を選択したいと願う家庭に対しての圧迫面接のような印象を受けたのでその点は改善してほしいです。支援級は難しいということを先生たちは伝えてなんとかして支援学校に行かせたいという印象しか受けませんでした。保護者はあの場で判定を望んでいるのではなく、一緒に最善の進路を考えて欲しいだけです。特性がよくわからないのであれば、この場で実際にその子と接してみても特性把握をすることが優先ではないかと考えます。あの場ではその十分な時間が取れないというのであれば何度か教育相談までに実際に接する機会を各学校で設けるべきであると思います。私も今年教育相談までに何度か学校に出向き、今後の話を先にと提案しましたが頑なに教育相談が終わってからと言われました。しかしその教育相談はほとんど意味を成していませんでした。支援学校や教育センターでの教育相談は時期を問わず行ってくれました。どちらも子どもを遊ばせながら特性を把握し、母親に伝えてくれたり、どのような支援があれば地域で過ごせるか、また地域と支援学校それぞれ進学した際のメリットデメリットを教えてくださいました。その大前提として家族の意向をまず踏まえて聞いてくれていました。関わってくれた幼稚園もディも同じようにこれまで話し合いを進めてきていました。そのため市の教育相談での学校の先生たちの対応は違和感を強く感じました。

本当に専門的な視点から見て、あの場で子どもたちの特性を見れているのか。見たとするならば判定結果にも具体的な説明を加えて保護者に伝えるべきであると感じます。

また判定結果に判定だけを記載するのは不親切であると感じます。せめてこれからこの判定とは違う進路を選びたい場合の流れ、期日を記載するなどしなければ保護者はまた教育委員会や学校に尋ねるなどしなければなりません。また判定結果を幼稚園に送付されていますが、その先生方から返却を行うのであれば先生たちからの具体的な説明を行えるよう指導が必要であるように思います。そうでないのであれば、直接保護者に判定を送るほうが良いのではないかと思います。

また隣の西条市では、判定結果を決めるだけでなく、保護者が別の進路をえらんだ場合の判定まで話し合っていると伺いました。そういったことを判定の委員会の中でしっかりと決めておけば、教育相談後、各学校任せにならないのではないかと思います。まだまだ改善の余地があり、非常に伸びしろのある市であると感じています。

○いざ入学してみると、教育相談で可能だと言われたことが不可能だったり、我が子が抱えている障がいについてご存知ないと思えるような言動もありました。支援学級のことをよくわかっている先生に教育相談に来ていただきたかったです。

○よりよい教育相談になるよう、このアンケートが生かされるよう願います

○特になし(3)

○前回アンケートにお答えしましたが 集計結果を拝見しましたが働く保護者へのアドバイスの(否定的?)意見は全く反映されておらず アンケートに答えるのも無意味に感じております。